

2コリ1:1 神の御心によってキリスト・イエスの使徒とされたパウロと、巨大テモテから、コリントにある神の教会と、アカイア州の全地方に住むすべての聖なる者たちへ。

2コリ1:2 わたしたちの父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、あなたがたにあるように。

2コリ1:3 わたしたちの主イエス・キリストの父である神、慈愛に満ちた父、慰めを豊かにくださる神がほめたたえられますように。

2コリ1:4 神は、あらゆる苦難に際してわたしたちを慰めてくださるので、わたしたちも神からいただくこの慰めによって、あらゆる苦難の中にある人々を慰めることができます。

2コリ1:5 キリストの苦しみ満ちあふれてわたしたちにも及んでいるのと同じように、わたしたちの受ける慰めもキリストによって満ちあふれているからです。

2コリ1:6 わたしたちが悩み苦しむとき、それはあなたがたの慰めと救いになります。また、わたしたちが慰められるとき、それはあなたがたの慰めになり、あなたがたがわたしたちの苦しみと同じ苦しみに耐えることができます。

2コリ1:7 あなたがたについてわたしたちが抱いている希望は揺るぎません。なぜなら、あなたがたが苦しみを共にしてくれているように、慰めをも共にしていると、わたしたちは知っているからです。

2コリ1:8 兄弟たち、アジア州でわたしたちが被った苦難について、ぜひ知っていてほしい。わたしたちは耐えられないほどひどく圧迫されて、生きる望みさえ失ってしまいました。

2コリ1:9 わたしたちとしては死の宣告を受けた思いでした。それで、自分を頼りにすることなく、死者を復活させてくださる神を頼りにするようになりました。

2コリ1:10 神は、これほど大きな死の危険からわたしたちを救ってくださったし、また救ってくださることでしょう。これからも救ってくださるにちがいないと、わたしたちは神に希望をかけています。

2コリ1:11 あなたがたも祈りで援助してください。そうすれば、多くの人のお陰でわたしたちに与えられた恵みについて、多くの人々がわたしたちのために感謝をささげられるようになるのです。

2コリ1:12 わたしたちは世の中で、とりわけあなたがたに対して、人間の知恵によってではなく、神から受けた純真と誠実によって、神の恵みの下に行動してきました。このことは、両親も証しするところで、わたしたちの誇りです。

2コリ1:13 わたしたちは、あなたがたが読み、また理解できること以外何も書いていません。あなたがたは、わたしたちをある程度理解しているのですから、わたしたちの主イエスの来られる日に、わたしたちにとってもあなたがたが誇りであるように、

2コリ1:14 あなたがたにとってもわたしたちが誇りであることを、十分に理解してもらいたい。

2コリ1:15 このような確信に備えられて、わたしは、あなたがたがもう一度恵みを受けるようにと、まずあなたがたのところへ行く計画を立てました。

2コリ1:16 そして、そちらを軽油してマケドニア州に赴き、マケドニア州から再びそちらに戻って、ユダヤへ送り出してもらおうと考えたのでした。

2コリ1:17 このような計画を立てたのは、軽はずみだったでしょうか。それとも、わたしが計画するのは、人間的な考えによることで、わたしにとって“然り、然り”が同時に、“否、否”となるのでしょうか。

2コリ1:18 神は真実な方です。だから、あなたがたに向けたわたしの言葉に、“然り”であると同時に“否”であるというものではありません。

2コリ1:19 わたしたち、つまり、わたしとシルワノとテモテが、あなたがたの間で宣べ伝えた神の子イエス・キリストは、“然り”と同時に“否”となったような方ではありません。この方においては“然り”だけが実現したのです。

2コリ1:20 神の約束は、ことごとくこの方において“然り”となったからです。それで、わたしたちは神をたたえるため、この方を通して“アーメン”と唱えます。

2コリ1:21 わたしたちとあなたがたとをキリストに固く結び付け、わたしたちに油を注いでくださったのは、神です。

2コリ1:22 神はまた、わたしたちに証印を押して、保障としてわたしたちの心に“霊”を与えてくださいました。

2コリ1:23 神を証人に立てて、命にかけて誓いますが、わたしがまだコリントに行かずにいるのは、あなたがたへの思いやりからです。

2コリ1:24 わたしたちは、あなたがたの信仰を支配するつもりはなく、むしろ、あなたがたの喜びのために協力する者です。あなたがたは信仰に基づいてしっかり立っているからです。

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ2:1 そこでわたしは、そちらに行くことで再びあなたがたを悲しませるようなことはすまい、と決心しました。

2コリ2:2 もしあなたがたを悲しませるとすれば、わたしが悲しませる人以外のいっただれが、わたしを喜ばせてく

れるでしょう。

2コリ2:3 あのようなことを書いたのは、そちらに行き、喜ばせてもらえるはずの人たちから悲しい思いをさせられなくなかったからです。わたしの喜びはあなたがたすべての喜びであると、あなたがたは一同について確信しているからです。

2コリ2:4 わたしは、悩みと愁いに満ちた心で、涙ながらに手紙を書きました。あなたがたを悲しませるためではなく、わたしがあなたがたに対してあふれるほど抱いている愛を知ってもらうためでした。

2コリ2:5 悲しみの原因となった人がいれば、その人はわたしを悲しませたのではなく、大げさな表現は控えませんが、あなたがたすべてをある程度悲しませたのです。

2コリ2:6 その人には、多数の者から受けたあの罰で十分です。

2コリ2:7 むしろ、あなたがたは、その人が悲しみに打ちのめされてしまわないように、赦して、力づけるべきです。

2コリ2:8 そこで、ぜひともその人を愛するようにしてください。

2コリ2:9 わたしが前に手紙を書いたのも、あなたがたが万事について従順であるかどうかを試すためでした。

2コリ2:10 あなたがたが何かのことで赦す相手は、わたしも赦します。わたしが何かのことで人を赦したとすれば、それは、キリストの前であなたがたのために赦したのです。

2コリ2:11 わたしたちがそうするのは、サタンにつけ込まれないためです。サタンのやり口は心得ているからです。

2コリ2:12 わたしは、キリストの福音を伝えるためにトロアスに行ったとき、主によってわたしのために門が開かれていましたが、

2コリ2:13 兄弟テトスに会えなかったので不安の心を抱いたまま人々に別れを告げて、マケドニア州に出発しました。

2コリ2:14 神に感謝します。神は、わたしたちをいつもキリストの勝利の行進に連らせ、わたしたちを通じて至るところに、キリストを知るといふ知識の香りを漂わせてくださいます。

2コリ2:15 救いの道をたどる者にとっても、滅びの道をたどる者にとっても、わたしたちはキリストによって神に捧げられる良い香りです。

2コリ2:16 滅びる者には死から死に至らせる香りであり、救われる者には命から命に至らせる香りです。このような務めにだれがふさわしいでしょうか。

2コリ2:17 わたしたちは、多くの人々のように神の言葉を売り物にして、神の御前でキリストに結ばれて語っています。

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ3:1 わたしたちは、またもや自分を推薦し始めているのでしょうか。それとも、ある人々のように、あなたがたへの推薦状、あるいはあなたがたからの推薦状が、わたしたちに必要なのでしょうか。

2コリ3:2 わたしたちの推薦状は、あなたがた自身です。それは、わたしたちの心に書かれており、すべての人々から知られ、読まれています。

2コリ3:3 あなたがたは、キリストがわたしたちを用いてお書きになった手紙として公にされています。墨ではなく生ける神の霊によって、石の板ではなく人の板に、書きつけられた手紙です。

2コリ3:4 わたしたちは、キリストによってこのような確信を神の前で抱いています。

2コリ3:5 もちろん、独りで何かできるなどと思う資格が、自分にあるということではありません。わたしたちの資格は神から与えられたものです。

2コリ3:6 神はわたしたちに、新しい契約に仕える資格、文字ではなく霊に仕える資格を与えてくださいました。文字は殺しますが、霊は生かします。

2コリ3:7 ところで、石に刻まれた文字に基づいて死に仕える務めさえ栄光を帯びて、モーセの顔に輝いていたつかの間の栄光のために、イスラエルの子らが彼の顔を見つめえないほどであったとすれば、

2コリ3:8 霊に仕える務めは、なおさら、栄光を帯びているはずではありませんか。

2コリ3:9 人を罪に定める務めが栄光をまもっていたとすれば、人を義とする務めは、なおさら、栄光に満ちあふれています。

2コリ3:10 そして、かつて栄光を与えられたものも、この場合、はるかに優れた栄光のために、栄光が失われています。

2コリ3:11 なぜなら、消え去るべきものが栄光を帯びていたのなら、永続するものは、なおさら、栄光に包まれているはずだからです。

2コリ3:12 このような希望を抱いているので、わたしたちは確信に満ちあふれてふるまっており、

2コリ3:13 モーセが、消え去るべきものの最後をイスラエルの子らに見られまいとして、自分の顔に覆いを掛けたようなことはしません。

2コリ3:14 しかし、彼らの考えは鈍くなってしまいました。今日に至るまで、古い契約が読まれる際に、この覆いは除かれずに掛かったままなのです。それはキリストにおいて取り除かれるものだからです。

2コリ3:15 このため、今日に至るまでモーセの書が読まれるときは、いつでも彼らの心には覆いが掛かっています。

2コリ3:16 しかし、主の方に向き直れば、覆いは取り去られます。

2コリ3:17 ここでいう主とは、“霊”のことですが、主の霊のおられるところに自由があります。

2コリ3:18 わたしたちは皆、顔の覆いを除かれて、鏡のように主の栄光を映し出しながら、栄光から栄光へと、主と同じ姿に造りかえられていきます。これは主の霊の働きによることです。

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ4:1 こういふわけで、わたしたちは、憐れみを受けた者としてこの務めをゆだねられているのですから、落胆しません。

2コリ4:2 かえって、卑劣な隠れた行いを捨て、悪賢く歩まず、神の言葉を曲げず、真理を明らかにすることにより、神の御前で自分自身をすべての人の両親にゆだねます。

2コリ4:3 わたしたちの福音に覆いが掛かっているとすると、それは、滅びの道をたどる人々に対して覆われているのです。

2コリ4:4 この世の神が、信じようとはしないこの人々の心の目をくらまし、神の似姿であるキリストの栄光に関する福音の光が見えないようにしたのです。

2コリ4:5 わたしたちは、自分自身を宣べ伝えるのではなく、主であるイエス・キリストを宣べ伝えています。わたしたち自身は、イエスのためにあなたがたに仕える僕なのです。

2コリ4:6 “暗から光が輝き出よ”と命じられた神は、わたしたちの心の内に輝いて、イエス・キリストの御顔に輝く神の栄光を悟光を与えてくださいました。

2コリ4:7 ところで、わたしたちは、このような宝を土の器に納めています。この並外れて偉大な力が神のものであって、わたしたちから出たものでないことが明らかになるために。

2コリ4:8 わたしたちは、四方から苦しめられても行き詰らず、途方に暮れても失望せず、

2コリ4:9 虐げられても見捨てられず、打ち倒されても滅ぼされない。

2コリ4:10 わたしたちは、いつもイエスの死を体にまっています、イエスの命がこの体に現れるために。

2コリ4:11 わたしたちは生きている間、絶えずイエスのために死にさらされています。死ぬはずのこの身にイエスの命が現れるために。

2コリ4:12 こうして、わたしたちの内には死が働き、あなたがたの内には命が働いていることとなります。

2コリ4:13 “わたしは信じた。それで、わたしは語った”と書いてあるとおり、それと同じ信仰の霊を持っているので、わたしたちも信じ、それだからこそ語ってもいます。

2コリ4:14 主イエスを復活させた神が、イエスと共にわたしたちをも復活させ、あなたがたと一緒に見前に立たせてくださると、わたしたちは知っています。

2コリ4:15 すべてこれらのことは、あなたがたのためであり、多くの人々が豊かに恵みを受け、感謝の念に満ちて神に栄光を帰すようになるためです。

2コリ4:16 だから、わたしたちは落胆しません。たとえわたしたちの“外なる人”は衰えていくとしても、わたしたちの“内なる人”は日々新たにされていきます。

2コリ4:17 わたしたちの一時の軽い艱難は、比べものにならないほど重みのある永遠の栄光をもたらしてくれます。

2コリ4:18 わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ5:1 わたしたちの地上の住みかである幕屋が減びても、神によって建物が備えられていることを、わたしたちは知っています。人の手で造られたものではない天にある永遠の住みかです。

2コリ5:2 わたしたちは、天から与えられる住みかを上に着たいと切に願って、この地上の幕屋にあつて苦しみもだえています。

2コリ5:3 それを脱いでも、わたしたちは神のままではおりません。

2コリ5:4 この幕屋に住むわたしたちは重荷を負ってうめいておりますが、それは、地上の住みかを脱ぎ捨てたいからではありません。死ぬはずのものが命に飲み込まれてしまうために、天から与えられる住みかを上に着たいからです。

2コリ5:5 わたしたちを、このようになるのにふさわしい者としてくださったのは、神です。神は、その保証として‘霊’を与えてくださったのです。

2コリ5:6 それで、わたしたちはいつも心強いのですが、体を住みかとしているかぎり、主から離れていることも知っています。

2コリ5:7 目に見えるものによらず、信仰によって歩んでいるからです。

2コリ5:8 わたしたちは、心強い。そして、体を離れて、主のもとに住むことをむしろ望んでいます。

2コリ5:9 だから、体を住みかとしていても、体を離れているにしても、ひたすら主に喜ばれる者でありたい。

2コリ5:10 なぜなら、わたしたちは皆、キリストの裁きの座の前に立ち、善であれ悪であれ、めいめい体を住みかとしていたときに行ったことに応じて、報いを受けねばならないからです。

2コリ5:11 主に対する畏れを知っているわたしたちは、人々の説得に努めます。わたしたちは、神にはありのままに知られています。わたしは、あなたがたの両親にもありのままに知られたいと思います。

2コリ5:12 わたしたちは、あなたがたにもう一度自己推薦をしようというわけではありません。ただ、内面ではなく、外面を誇っている人々に応じられるように、わたしたちのことを誇る機会をあなたがたに提供しているのです。

2コリ5:13 わたしたちが正気でないとするなら、それは神のためであつたし、正気であるなら、それはあなたがたのためです。

2コリ5:14 なぜなら、キリストの愛がわたしたちを駆り立てているからです。わたしたちはこう考えます。すなわち、一人の方がすべての人のために死んでくださった以上、すべての人も死んだこととなります。

2コリ5:15 その一人の方はすべての人のために死んでくださった。その目的は、生きている人たちが、もはや自分自身のために生きるのではなく、自分たちのために死んで復活してくださった方のために生きることなのです。

2コリ5:16 それで、わたしたちは、今後だれをも肉に従って知ろうとはしません。肉に従ってキリストを知っていたとしても、今はもうそのように知ろうとはしません。

2コリ5:17 だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。

2コリ5:18 これらはすべて神から出ることであつて、神は、キリストを通してわたしたちを御自分と和解させ、また、和解のために奉仕する任務をわたしたちにお授けになりました。

2コリ5:19 つまり、神はキリストによって世を御自分と和解させ、人々の罪の責任を問うことなく、和解の言葉をわたしたちにゆだねられたのです。

2コリ5:20 ですから、神がわたしたちを通して勧めておられるので、わたしたちはキリストの使者の務めを果たしています。キリストに代わってお願いします。神と和解させていただきなさい。

2コリ5:21 罪と何のかかわりもない方を、神はわたしたちのために罪となさいました。わたしたちはその方によって神の義を得ることができたのです。

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ6:1 わたしたちはまた、神の協力者としてあなたがたに勧めます。神からいただいた恵みを無駄にはしてはいけません。

2コリ6:2 なぜなら、“恵みの時に、わたしはあなたの願いを聞き入れた。救いの日に、わたしはあなたを助けた”と神は言っておられるからです。今や、恵みの時、今こそ、救いの日。

2コリ6:3 わたしたちはこの奉仕の務めが避難されないように、どんな事にも人に罪の機械を与えず、

2コリ6:4 あらゆる場合に神に仕える者としてその実を示しています。大いなる忍耐をもって、苦難、欠乏、行き詰ま

り、

2コリ6:5 鞭打ち、監禁、暴動、労苦、不眠、飢餓においても、

2コリ6:6 純真、知識、寛容、親切、聖霊、偽りのない愛、

2コリ6:7 真理の言葉、神の力によってそうしています。左右の手に義の武器を持ち、

2コリ6:8 栄誉を受けるときも、辱めを受けるときも、悪評を浴びるときも、好評を博するときにもそうしているのです。わたしたちは人を欺いているようであり、誠実であり、

2コリ6:9 人に知られていないようであり、よく知られ、死にかかっているようで、このように生きており、罰せられているようで、殺されてはおらず、

2コリ6:10 悲しんでいるようで、常に喜び、物乞いのように、多くの人を富ませ、無一物のようで、すべてのものを所有しています。

2コリ6:11 コリントの人たち、わたしたちはあなたがたに率直に語り、心を秘録開きました。

2コリ6:12 わたしたちはあなたがたを広い心で受け入れています、あなたがたは自分で心を狭くしています。

2コリ6:13 子供たちに語るようにわたしは言いますが、あなたがたも同じように心を広くしてください。

2コリ6:14 あなたがたは、信仰のない人々と一緒に不釣り合いな軛につながってはなりません。正義と不法とにどんなかわりがありますか。光と闇とに何のつながりがありますか。

2コリ6:15 キリストとベリアルにどんな調和がありますか。信仰と不信仰に何の関係がありますか。

2コリ6:16 神の神殿と偶像にどんな一致がありますか。わたしたちは生ける神の神殿なのです。神がこう言われているとおります。"わたしは彼らの間に住み、巡り歩く。そして、彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

2コリ6:17 だから、あの者どもの中から出て行き、遠ざかるように'と主は仰せになる。'そして、汚れたものに触れるのをやめよ。そうすれば、わたしはあなたがたを受け入れ、

2コリ6:18 父となり、あなたがたはわたしの息子、娘となる。'全能の主はこう仰せられる。"

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ7:1 愛する人たち、わたしたちは、このような約束を受けているのですから、肉と霊のあらゆる汚れから自分を清め、神を畏れ、完全に聖なる者となりましょう。

2コリ7:2 わたしたちに心を開いてください。わたしたちはだれにも不義を行わず、だれをも破壊させず、だれからもだまし取ったりしませんでした。

2コリ7:3 あなたがたを、責めるつもりで、こう言っているのではありません。前にも言ったように、あなたがたはわたしたちの心の中にいて、わたしたちと生死を共にしているのです。

2コリ7:4 わたしはあなたがたに厚い信頼を寄せており、あなたがたについて大いに誇っています。わたしは慰めに満たされており、どんな苦難のうちにあっても喜びに満ちあふれています。

2コリ7:5 マケドニア州に着いたとき、わたしたちの身には全く安らぎがなく、ことごとく苦しんでいました。外には戦い、内には恐れがあったのです。

2コリ7:6 しかし、気落ちした者を力づけてください神は、テトスの到着によってわたしたちを慰めてくださいました。

2コリ7:7 テトスが来てくれたことによってだけでなく、彼があなたがたから受けた慰めによっても、そうしてくださったのです。つまり、あなたがたがわたしを慕い、わたしのために嘆き悲しみ、わたしに対して熱心であることを彼が伝えてくれたので、わたしはいっそう喜んだのです。

2コリ7:8 あの手紙によってあなたがたを悲しませたとしても、わたしは航海しません。確かに、あの手紙が一時にもせよ、あなたがたを悲しませたことは知っています。たとえ航海したとしても、

2コリ7:9 今は喜んでいます。あなたがたがただ悲しんだからではなく、悲しんで悔い改めたからです。あなたがたが悲しんだのは神の御心に適ったことなので、わたしたちからは何の害も受けずに済みました。

2コリ7:10 神の御心に適った悲しみは、取り消されることのない救いに通じる悔い改めを生じさせ、世の悲しみは死をもたらします。

2コリ7:11 神の御心に適ったこの悲しみが、あなたがたにどれほどの熱心、弁明、憤り、恐れ、あこがれ、熱意、懲らしめをもたらしたことでしょう。例の事件に関しては、あなたがたは自分がすべての点で潔白であることを証明しました。

2コリ7:12 ですから、あなたがたに手紙を送ったのは、不義を行った者のためでも、その被害者のためでもなく、わたしたちに対するあなたがたの熱心を、神の御前であなたがたに明らかにするためでした。

2コリ7:13 こういうわけでわたしたちは慰められたのです。この慰めに加えて、テトスの喜ぶさまを見て、わたしたち

はいっそう喜びました。彼の心があなたがた一同のお陰で元気づけられたからです。

2コリ7:14 わたしはあなたがたのことをテトスに少し誇りましたが、そのことで恥をかかずに済みました。それどころか、わたしたちはあなたがたにすべて真実を語ったように、テトスの前で誇ったことも真実となったのです。

2コリ7:15 テトスは、あなたがた一同が従順で、どんなに恐れおののいて歓迎してくれたかを思い起こして、ますますあなたがたに心を寄せています。

2コリ7:16 わたしは、すべての点であなたがたを信頼できることを喜んでいきます。

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ8:1 兄弟たち、マケドニア州の諸教会に与えられた神の恵みについて知らせましょう。

2コリ8:2 彼らは苦しみによる激しい試練を受けていたのに、その満ち満ちた喜びと極度の貧しさがあふれ出て、人に惜しまず施す豊かさとなったということです。

2コリ8:3 わたしは証しますが、彼らは力に応じて、また力以上に、自分から進んで、

2コリ8:4 聖なる者たちを助けるための慈善の業と奉仕に参加させてほしいと、しきりにわたしたちに願い出たのでした。

2コリ8:5 また、わたしたちの期待以上に、彼らはまず主に、次いで、神の御心にそってわたしたちにも自分自身を献げたので、

2コリ8:6 わたしたちはテトスに、この慈善の業をあなたがたの間で始めたからには、やり遂げるようにと勧めました。

2コリ8:7 あなたがたは信仰、言葉、知識、あらゆる熱心、わたしたちから受ける愛など、すべての点で豊かなのですから、この慈善の業においても豊かな者となりなさい。

2コリ8:8 わたしは命令としてこう言っているわけではありません。他の人々の熱心に照らしてあなたがたの愛の純粹さを確かめようとして言うのです。

2コリ8:9 あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです。

2コリ8:10 この件についてわたしの意見を述べておきます。それがあなたがたの益になるからです。あなたがたは、このことを去年から他に先がけて実行したばかりでなく、実行したいと願ってもしました。

2コリ8:11 だから、今それをやり遂げなさい。進んで実行しようと思ったとおりに、自分が持っているものでやり遂げることです。

2コリ8:12 進んで行く気持があれば、持たないものではなく、持っているものに応じて、神に受け入れられるのです。

2コリ8:13 他の人々には楽をさせて、あなたがたに苦勞をかけるということではなく、釣り合いがとれるようにするわけです。

2コリ8:14 あなたがたの現在のゆとりが彼らの欠乏を補えば、いつか彼らのゆとりもあなたがたの欠乏を補うことになり、こうして釣り合いがとれるのです。

2コリ8:15 “多く集めた者も、余ることはなく、わずかしか集めなかった者も、不足することはなかった”と書いてあるとおりにです。

2コリ8:16 あなたがたに対してわたしたちが抱いているのと同じ熱心を、テトスの心にも抱かせてくださった神に感謝します。

2コリ8:17 彼はわたしたちの勧告を受け入れ、ますます熱心に、自ら進んでそちらに赴こうとしているからです。

2コリ8:18 わたしたちは一人の兄弟を同伴させます。福音のことで至るところの教会で評判の高い人です。

2コリ8:19 そればかりではありません。彼はわたしたちの同伴者として諸教会から任命されたのです。それは、主御自身の栄光と自分たちの熱意を現すようにわたしたちが奉仕している、この慈善の業に加わるためでした。

2コリ8:20 わたしたちは、自分が奉仕しているこの惜しまず提供された募金について、だれからも非難されないようにしています。

2コリ8:21 わたしたちは、主の前だけではなく、人の前でも公明正大にふるまうように心がけています。

2コリ8:22 彼らにもう一人わたしたちの兄弟を同伴させます。この人が熱心であることは、わたしたちがいろいろな機会にしばしば実際に認めたところですが、今、彼はあなたがたに厚い信仰を寄せ、ますます熱心になっています。

2コリ8:23 テトスについて言えば、彼はわたしの同志であり、あなたがたのために協力する者です。これらの兄弟について言えば、彼らは諸教会の使者であり、キリストの栄光となっています。

2コリ8:24 だから、あなたがたの愛の証しと、あなたがたのことでわたしたちが抱いている誇りの証しとを、諸教会の

前で彼らに見せてください。

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ9:1 聖なる者たちへの奉仕について、これ以上書く必要はありません。

2コリ9:2 わたしはあなたがたの熱意を知っているので、アカイア州では去年から準備ができていると言って、マケドニア州の人々にあなたがたのことを誇りました。あなたがたの熱意は多くの人々を奮い立たせたのです。

2コリ9:3 わたしが兄弟たちを派遣するのは、あなたがたのことでわたしたちが抱いている誇りが、この点で無意味なものにならないためです。また、わたしが言ったとおりに用意してもらいたいためです。

2コリ9:4 そうでない、マケドニア州の人々がわたしと共に、まだ用意のできていないのを見たら、あなたがたはもちろん、わたしたちも、このように確信しているだけに、恥をかくことになりかねないからです。

2コリ9:5 そこで、この兄弟たちに頼んで一足先にそちらに行って、以前あなたがたが約束した贈り物の用意をしてもらうことが必要だと思いました。渋りながらではなく、惜しまず指し出したものとして用意してもらうためです。

2コリ9:6 つまり、こういうことです。惜しんでわずかしか種を蒔かない者は、刈り入れもわずかで、惜しまず豊かに蒔く一は、刈り入れも豊かなのです。

2コリ9:7 各自、不承不承ではなく、強制されてでもなく、こうしようと心に決めたとおりにしなさい。喜んで与える一を神は愛してくださるからです。

2コリ9:8 神はあなたがたがいつもすべての点ですべてのものに十分で、あらゆる善い業に満ちあふれるように、あらゆる恵みをあなたがたに満ちあふれさせることがおできになります。

2コリ9:9 “彼は惜しみなく分け与え、貧しい一に施した。彼の慈しみは永遠に続く”と書いてあるとおりで。

2コリ9:10 種を蒔く一に種を与え、パンを糧としてお与えになる方は、あなたがたに種を与えて、それを増やし、あなたがたの慈しみが結ぶ実を成長させてください。

2コリ9:11 あなたがたはすべてのことに富む者とされて惜しまず施すようになり、その施しは、わたしたちを通じて神に対する感謝の念を引き出します。

2コリ9:12 なぜなら、この奉仕の働きは、聖なる者たちの不足しているものを補うばかりでなく、神に対する多くの感謝を通してますます盛んになるからです。

2コリ9:13 この奉仕の業が実際に行われた結果として、彼らは、あなたがたがキリストの福音を従順に公言していること、また、自分たちや他のすべての人々に惜しまず施しを分けてくれることで、神をほめたたえます。

2コリ9:14 更に、彼らはあなたがたに与えられた神のこの上なくすばらしい恵みを見て、あなたがたを慕い、あなたがたのために祈るのです。

2コリ9:15 言葉では言い尽くせない贈り物について神に感謝します。

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ10:1 さて、あなたがたの間で面と向かっては弱腰だが、離れていると強硬な態度に出る、と思われている、このわたしパウロが、キリストの優しさと心の広さをもって、あなたがたに願います。

2コリ10:2 わたしたちのことを肉に従って歩んでいると見なしている者たちに対しては、勇敢に立ち向かうつもりです。わたしがそちらに行くときは、そんな強硬な態度をとらずに済むようにと願っています。

2コリ10:3 わたしたちは肉において歩んでいますが、肉に従って戦うものではありません。

2コリ10:4 わたしたちの戦いの武器は肉のものではなく、神に由来する力であって要塞も破壊するに足ります。わたしは理屈を打ち破り、

2コリ10:5 神の知恵に逆らうあらゆる高慢を打ち倒し、あらゆる思惑をとりこにしてキリストに従わせ、

2コリ10:6 また、あなたがたの従順が完全なるものになるとき、すべての不従順を罰する用意ができています。

2コリ10:7 あなたがたは、うわべのことだけ見えています。自分がキリストのものだと信じきっている一がいれば、その一は、自分と同じくわたしたちもキリストのものであることを、もう一度考えてみるがよい。

2コリ10:8 あなたがたを打ち倒すためではなく、造り上げるために主がわたしたちに授けてくださった権威について、わたしがいささか誇りすぎたとしても恥にはならないでしょう。

2コリ10:9 わたしは手紙であなたがたを脅していると思われたくない。

2コリ10:10 わたしのことを、“手紙は重々しく力強いが、実際に会ってみると弱々しい”で、話もつまらない”と言う者たちがいるからです。

2コリ10:11 そのような者は心を得ておくがよい。離れていて手紙で書くわたしたちと、その場に居合せてふるまうわたしたちとに変わりはありません。

2コリ10:12 わたしたちは、自己推薦する者たちと自分を同列に置いたり、比較したりしようなどとは思いません。彼らは仲間どうしで評価し合い、比較し合っていますが、愚かなことです。

2コリ10:13 わたしたちは態度を超えては誇らず、神が割り当ててくださった範囲内で誇る、つまり、あなたがたのところまで行ったということで誇るのです。

2コリ10:14 わたしたちは、あなたがたのところまでは行かなかったかのように、限度を超えようとしているではありません。実際、わたしたちはキリストの福音を携えてだれよりも先にあなたがたのもとを訪れたのです。

2コリ10:15 わたしたちは、他人の苦勞の結果を限度を超えて誇るようなことはしません。ただ、わたしたちが希望しているのは、あなたがたの信仰が成長し、あなたがたの間でわたしたちの働きが定められた範囲内でますます増大すること、

2コリ10:16 あなたがたを超えた他の地域にまで福音が告げ知らされるようになること、わたしたちが他の人々の領域で成し遂げられた活動を誇らないことです。

2コリ10:17 “誇る者は主を誇れ。”

2コリ10:18 自己推薦する者ではなく、主から推薦される人こそ、適格者として受け入れられるのです。

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ11:1 わたしの少しばかりの愚かさを我慢してくれたらよいが、いや、あなたがたは我慢してくれています。

2コリ11:2 あなたがたに対して、神が抱いておられる熱い思いをわたしも抱いています。なぜなら、わたしはあなたがたを純潔な処女として一人の夫と婚約させた、つまりキリストに献げたからです。

2コリ11:3 ただ、エバが蛇の悪だくみで欺かれたように、あなたがたの思いが汚されて、キリストに対する真心と純潔とからそれてしまうのではないかと心配しています。

2コリ11:4 なぜなら、あなたがたは、だれかがやって来てわたしたちが宣べ伝えたのとは異なったイエスを宣べ伝えても、あるいは、自分たちが受けたことのない違った霊や、受け入れたことのない違った福音を受けることになっても、よく我慢しているからです。

2コリ11:5 あの大使徒たちと比べて、わたしは少しも引けは取らないと思う。

2コリ11:6 たとえ、話し振りは素人でも、知識はそうではない。そして、わたしたちはあらゆる点あらゆる面で、このことをあなたがたに示してきました。

2コリ11:7 それとも、あなたがたを高めるため、自分を低くして神の福音を無報酬で告げ知らせたからといって、わたしは罪を犯したことになるでしょうか。

2コリ11:8 わたしは、他の諸教会からかすめ取るようにしてまでも、あなたがたに奉仕するための生活費を手に入れました。

2コリ11:9 あなたがたのもとで生活に不自由したとき、だれにも負担をかけませんでした。マケドニア州から来た兄弟たちが、わたしの必要を満たしてくれたからです。そして、わたしは何事においてもあなたがたに負担をかけないようにしてきたし、これからもそうするつもりです。

2コリ11:10 わたしの内にあるキリストの真実にかけて言います。このようにわたしが誇るのを、アカイア地方で妨げられることは決してありません。

2コリ11:11 なぜだろうか。わたしがあなたがたを愛していないからだろうか。神がご存じです。

2コリ11:12 わたしは今していることを今後も続けるつもりです。それは、わたしたちと同様に誇れるようにと機会をねらっている者たちから、その機会を断ち切るためです。

2コリ11:13 こういふ者たちは偽使徒、ずる賢い働き手であって、キリストの使徒を装っているのです。

2コリ11:14 だが、驚くには当たりません。サタンでさえ光の天使を装うのです。

2コリ11:15 だから、サタンに仕える者たちが、義に仕える者を装うことなど、大したことではありません。彼らは、自分たちの業に応じた最期を遂げるでしょう。

2コリ11:16 もう一度言います。だれもわたしを愚か者と思わないでほしい。しかし、もしあなたがたをそう思うなら、わたしを愚か者と見なすがよい。そうすれば、わたしも少しは誇ることができる。

2コリ11:17 わたしがこれから話すことは、主の御心に従ってではなく、愚か者のように誇れると確信して話すのです。

2コリ11:18 多くの者が肉に従って誇っているのです、わたしも誇ることにしよう。

2コリ11:19 賢いあなたがたのことだから、喜んで愚か者たちを我慢してくれるでしょう。

2コリ11:20 実際、あなたがたはだれかに奴隷にされても、食べ物にされても、取り上げられても、横柄な態度に出られても、顔を殴りつけられても、我慢しています。

2コリ11:21 言うのも恥ずかしいことですが、わたしたちの態度は弱すぎたのです。だれかが二にかのことであえて誇ろうとするなら、愚か者になったつもりで言いますが、わたしもあえて誇ろう。

2コリ11:22 彼らはヘブライ人なのか。わたしもそうです。イスラエル人なのか。わたしもそうです。アブラハムの子孫なのか。わたしもそうです。

2コリ11:23 キリストに仕える者なのか。気が変になったように言いますが、わたしは彼ら以上にそうなのです。苦勞したことはずっと多く、投獄されたこともずっと多く、鞭打たれたことは比較できないほど多く、死ぬような目に遭ったことも度々でした。

2コリ11:24 ユダヤ人から四十に一つ足りない鞭を受けたことが五度。

2コリ11:25 鞭で打たれたことが三度、石を投げつけられたことが一度、難船したことが三度。一昼夜海上に漂ったこともありました。

2コリ11:26 しばしば旅をし、川の難、盗賊の難、同胞からの難、異邦人からの難、町での難、荒れ野での難、海上の難、偽の兄弟たちからの難に遭い、

2コリ11:27 苦勞し、骨折って、しばしば眠らずに過ごし、飢え渴き、しばしば食わずにおり、寒さに凍え、裸でいたこともありました。

2コリ11:28 このほかにもまだあるが、その上に、日々わたしに迫るやっかい事、あらゆる教会についての心配事があります。

2コリ11:29 だれかが弱っているなら、わたしは弱らないでいられるでしょうか。だれかがつまづくなら、わたしが心を燃やさないでいられるでしょうか。

2コリ11:30 誇る必要があるなら、私の弱さにかかわる事柄を誇りましょう。

2コリ11:31 主イエスの父である神、永遠にほめたたえられるべき方は、わたしが偽りを言っていないことをご存じです。

2コリ11:32 ダマスコでアレタ王の代官が、わたしを捕らえようとして、ダマスコの人たちの町を見張っていたとき、

2コリ11:33 わたしは、窓から籠で城壁づたいにつり降ろされて、彼の手を逃れたのでした。

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ12:1 わたしは誇らずにいられません。誇っても無益ですが、主が見せてくださった事と啓示してくださった事について語りましょう。

2コリ12:2 わたしは、キリストに結ばれていた一人の人を知っていますが、その人は十四念前、第3の点にまで引き上げられたのです。体のままか、体を離れてかは知りません。神をご存じです。

2コリ12:3 わたしはそのような人を知っています。体のままか、体を離れてかは知りません。神をご存じです。

2コリ12:4 彼は樂園にまで引き上げられ、人が口にすることを許されない、言い表しえない言葉を耳にしたのです。

2コリ12:5 このような人のことをわたしは誇りましょう。しかし、自分自身については、弱さ以外には誇るつもりはありません。

2コリ12:6 仮にわたしが誇る気になったとしても、真実を語るのだから、愚か者にはならないでしょう。だが、誇るまい。わたしのことを見たり、わたしから話を来いたりする以上に、わたしを過大評価する人がいるかもしれないし、

2コリ12:7 また、あの啓示された事があまりにも素晴らしいからです。それで、そのために思い上がることのないようにと、わたしの身に一つのとげが与えられました。それは、思い上がらないように、わたしを痛めつけるために、サタンから送られた使いです。

2コリ12:8 この使いについて、離れ去らせてくださるように、わたしは三度主に願いました。

2コリ12:9 すると主は、“わたしの恵みはあなたに十分である力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ”と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。

2コリ12:10 それゆえ、わたしは弱さ、侮辱、窮乏、迫害、そして行き詰りの状態にあっても、キリストのために満足しています。なぜなら、わたしは弱いときにこそ強いからです。

2コリ12:11 わたしは愚か者になってしまいました。あなたがたが無理にそうさせたのです。わたしが、あなたがたから推薦してもらったのです。わたしは、たとえ取るに足りない者だとしても、あの大使徒たちに比べて少しも引けは取らなかったからです。

2コリ12:12 わたしは使徒であることを、しるしや、不思議な業や、奇跡によって、忍耐強くあなたがたの間で実証しています。

2コリ12:13 あなたがたが他の諸教会よりも劣っている点は何でしょう。わたしが負担をかけなかったことだけではないですか。この不当な点をどうか許してほしい。

2コリ12:14 わたしはそちらに三度目の訪問をしようと準備しているのですが、あなたがたに負担はかけません。わたしが求めているのは、あなたがたの持ち物ではなく、あなたがた自身だからです。子は親のために財産を蓄える必要はなく、親が子のために蓄えなければならないのです。

2コリ12:15 わたしはあなたがたの魂のために大いに喜んで自分の持ち物を使い、自分自身を使い果たしましょう。あなたがたを愛すれば愛するほど、わたしの方はますます愛されなくなるのでしょうか。

2コリ12:16 わたしが負担をかけなかったとしても、悪賢くて、あなたがたからだまし取ったということになっていきます。

2コリ12:17 そちらに派遣した人々の中のだれによって、あなたがたをだましたでしょうか。

2コリ12:18 テトスにそちらに行くように願い、あの兄弟を同伴させましたが、そのテトスがあなたがたをだましたでしょうか。わたしたちは同じ霊に導かれ、同じ模範に倣って歩んだのではなかったのですか。

2コリ12:19 あなたがたは、わたしたちがあなたがたに対し自己弁護をしているのだと、こえまですっと思ってきたのです。わたしたちは神の前で、キリストに結ばれて語っています。愛する人たち、すべてはあなたがたを造り上げるためなのです。

2コリ12:20 わたしは心配しています。そちらに行ってみると、あなたがたがわたしの期待していたような人たちではなく、わたしの方もあなたがたの期待どおりの者ではない、ということにならないだろうか。争い、ねたみ、怒り、党派心、そしり、陰口、高慢、騒動などがあるのではないだろうか。

12,20-1,ないだろうか。

2コリ12:21 再びそちらに行くとき、わたしの神があなたがたの前でわたしに面目を失わせるようなことはなさらないだろうか。以前に罪を犯した多くの人々が、自分たちの行った不潔な行い、みだらな行い、ふしだらな行いを悔い改めずにいるのを、わたしは嘆き悲しむことになるのではない。

12,21-1,ではないだろうか。

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ***:

2コリ13:1 わたしがあなたがたのところに行くのは、これで三度目です。すべてのことは、二人ないし三人の証人の口によって確定されるべきです。

2コリ13:2 以前罪を犯した人と、他のすべての人々は、そちらでの二度目の滞在中に前もって言うておいたように、離れている今もあらかじめ言うておきます。今度そちらに行ったら、容赦しません。

2コリ13:3 なぜなら、あなたがたはキリストがわたしによって語っておられる証拠を求めているからです。キリストはあなたがたに対しては弱い方ではなく、あなたがたの間で強い方です。

2コリ13:4 キリストは、弱さのゆえに十字架につけられましたが、神の力によって生きておられるのです。わたしたちもキリストに結ばれた者として弱い者ですが、しかし、あなたがたに対しては、神の力によってキリストと共に生きています。

2コリ13:5 信仰を持って生きているかどうか自分を反省し、自分を吟味しなさい。あなたがたは自分自身のことが解らないのですか。イエス・キリストがあなたがたの内におられることが、あなたがたが失格者なら別ですが・・・。

2コリ13:6 わたしたちが失格者でないことを、あなたがたが知るようにと願っています。

2コリ13:7 わたしたちは、あなたがたがどんな悪も行わないようにと、神に祈っています。それはわたしたちが、適格者と見なされたいからではなく、たとえ失格者と見えようとも、あなたがたが善を行うためなのです。

2コリ13:8 わたしたちは、何事も真理に逆らってはできませんが、真理のためならばできます。

2コリ13:9 わたしたちは自分が弱くても、あなたがたが強ければ喜びます。あなたがたが完全な者になることをも、わたしたちは祈っています。

2コリ13:10 遠くにいてこのようなことを書き送るのは、わたしがそちらに行ったとき、壊すためではなく造り上げるために主がお与えくださった権威によって、厳しい態度をとらなくても済むようにするためです。

2コリ13:11 終わりに、兄弟たち、喜びなさい。完全な者になりなさい。励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。

2コリ13:12 聖なる口づけによって互いに挨拶を交わしなさい。すべての聖なる者があなたがたによろしくのことです。

2コリ13:13 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。